

城南家保ニュース R5. 9月号

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

EMAIL : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

九州で初めて豚熱（CSF）の発生が確認されました



発生農場周辺図（佐賀県 HP より抜粋）

令和5年8月30日、31日に佐賀県唐津市の養豚場2件で豚熱（CSF）の発生が確認されました。9月1日時点で明確な感染経路は明らかになっておらず、油断できない状況が続いています。豚及びいのしし飼養者の皆様におかれましては、引き続き農場への関係者以外の立入禁止及び野生動物侵入防止対策を含めた飼養衛生管理基準を遵守するとともに、特定症状を呈する異状畜がみられた場合は、速やかに当所へ通報されますよう

お願いします。

なお、豚熱発生に伴い、佐賀県唐津市、伊万里市、多久市、武雄市及び太良町で車両の消毒ポイントが設置されています。通行される際は、ご協力をお願いいたします。

豚熱発生に伴い緊急防疫対策会議を開催

佐賀県での豚熱発生を受け、情報の共有を行い防疫対策の徹底を図るため、城南家保で畜産関係団体、市町村を参集し緊急防疫対策会議を開催しました。豚熱の発生状況や本件の対応、また城南家保管内の豚飼養状況等について説明し、その後、活発な質疑応答が交わされました。

畜産関係者の皆様におかれましては、

病原体の侵入防止対策を含めた飼養衛生管理基準の遵守、異状畜がみられた場合の早期通報等、農場への指導に御協力をお願いいたします。



繁殖向上のための講習会を実施しました

令和5年7月28日に水上村、8月24日に山江村で繁殖向上に係る講習会を実施しました。肉用牛の生産性において、繁殖は最も重要です。しかし人手不足等もあり、1年1産（空胎日数90日以内）を達成できていない農場が散見されます。できる対策から取り入れ、成績の向上に努めましょう。

①発情の発見

空胎を長引させている原因の一つとして多いのが、発情の見逃しです。朝昼夜の3回、各30分ずつ農場の見回りを実施すれば、発情発見率は80%以上になるといわれています。また、多くの牛は朝又は夕方に発情行動を起こします。発情を見逃さないよう、注意深く確認しましょう。

②受胎率の向上

発情を示すが受胎しない原因として、高齢、ストレス（気温等）、栄養バランスの不整等が挙げられます。特に栄養バランスについては、栄養が不足すると発情が弱くなり（卵胞を発育できない）、逆に多すぎる（主に濃厚飼料）と、胃内でアンモニアが過剰発生し、繁殖に悪影響を及ぼします。また、太りすぎると肝臓に負荷がかかり、発情及び排卵が正常に行われなくなる可能性があります。ボディコンディションスコア等を活用し、繁殖牛をより良い状態に保ちましょう。

③子牛の下痢対策

下痢症は子牛に悪影響を与え、採食量や増体に直接影響します。また重度になると、脱水等により死んでしまう可能性もあります。下痢の原因として細菌やウイルス、原虫等の病原体によるものも多いですが、環境要因（ストレス）によるものも少なくありません。特に子牛の腹冷えが起きると、第四胃の酵素活性が低下し、うまく消化ができず下痢になってしまいます。今後9～10月の秋季にかけて、朝夜は涼しく、昼は暑い寒暖差の大きい時期となります。隙間風等がないかの確認や、敷材の交換頻度を増やす等、対策を考えておきましょう。

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	ロシア	家さん	令和5年8月9日
		南樺太	野鳥及び愛玩鳥等	令和5年7月17日
			野鳥及び愛玩鳥等	令和5年7月25日
		中国	野鳥及び愛玩鳥等	令和5年7月4日
		台湾	家さん	令和5年7月18日
口蹄疫	O型	新疆ウイグル自治区	牛	令和5年5月10日
アフリカ豚熱		韓国	野生いのしし（22件）	令和5年7月～8月

令和5年(2023年)8月31日現在

家保職員から一言



9月に入り、相変わらず昼間は暑いですが、少しずつ朝夕の気温が低くなっていくことが予想されます。季節の変わり目の時期は人にとっても、風邪をひきやすいため注意が必要ですが、大きい寒暖差は家畜にも強いストレスを与えます。そのため、疾病等が出やすい時期にもなります。家畜の些細な変化等、見逃さないようにしましょう！